

平成31年3月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月15日

上場会社名 株式会社富士テクノソリューションズ 上場取引所 東
 コード番号 2336 URL http://www.fjtsc.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高井 男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員常務 (氏名) 岩澤 隆則 (TEL) 046(294)1061
 中間発行者情報提出予定日 平成30年12月28日 配当支払開始予定日 -
 中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
 中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期中間期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は、対前年同中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期中間期	922	8.8	13	△31.6	6	200.6	10	947.4
30年3月期中間期	847	-	19	-	2	-	0	-

(注) 中間包括利益 31年3月期中間期 10百万円(947.4%) 30年3月期中間期 0百万円(-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期中間期	12.71	-
30年3月期中間期	1.21	-

- (注) 1. 当社は、平成29年3月期中間期においては、中間連結財務諸表を作成していないため平成30年3月期中間期の対前年同中間期増減率を記載しておりません。
 2. 当社は、平成29年6月30日付で、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益を算定しております。
 3. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期中間期	821	11	1.4
30年3月期	829	6	0.7

(参考) 自己資本 31年3月期中間期 11百万円 30年3月期 6百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	0.00	6.00	6.00
31年3月期	0.00	-	-
31年3月期(予想)	-	-	-

(注) 期末の配当予想額は未定です。
 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,800	5.0	43	58.4	26	-	22	27.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期中間期	807,600株	30年3月期	807,600株
② 期末自己株式数	31年3月期中間期	一株	30年3月期	一株
③ 期中平均株式数(中間期)	31年3月期中間期	807,600株	30年3月期中間期	807,600株

- (注) 当社は、平成29年6月30日付で、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。
このため、前連結会計年度にかかる株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信(添付資料)3ページの「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測に関する情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測に関する情報	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	8
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業の経営成績や雇用環境の改善などを背景に、設備投資の増加や個人消費の持ち直しがみられるなど緩やかな回復傾向で推移いたしました。一方、相次いで発生した自然災害や人手不足などの経済に与える影響に留意する必要があります。海外経済の動向については米中貿易摩擦、新興国経済の動向や原油高などにより先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループの主要顧客である製造業においては、依然として活発な研究開発投資を継続しており、当社グループへの技術者要請も引き続き堅調に推移いたしました。

このような経営環境のなか、当社グループは「最新技術により、ものづくり分野の業務改革に貢献する」をキーワードに、引き続き製造業の様々な装置設計開発部門を中心に2次元CADトレースから始まり、3次元CADモデリングを経て、より高度な技術である機械設計や解析業務において専門技術をもった技術者が技術者派遣・チーム請負・受託開発をお客様のニーズにあわせ提供してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は922百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益は13百万円（前年同期比31.6%減）、経常利益は6百万円（前年同期比200.6%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は10百万円（前年同期比947.4%増）となりました。

当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(ア) 流動資産

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1百万円減少し599百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加25百万円、受取手形及び売掛金の減少20百万円が主な変動要因であります。

(イ) 固定資産

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し222百万円となりました。これは主として、ソフトウェアの減少9百万円が主な変動要因であります。

(ウ) 流動負債

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ2百万円増加し272百万円となりました。これは主として、1年内返済予定の長期借入金の増加9百万円、未払消費税等の減少3百万円が主な変動要因であります。

(エ) 固定負債

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ16百万円減少し537百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少18百万円が主な変動要因であります。

(オ) 純資産

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5百万円増加し11百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する中間純利益の計上10百万円による利益剰余金の増加、配当金の支払いによる利益剰余金の減少4百万円が主な変動要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、323百万円で前連結会計期間末に比べ25百万円増加となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は51百万円（前年同期比38.5%増）となりました。これは主として、税金等調整前中間純利益9百万円、減価償却費16百万円、売上債権の減少額20百万円等で資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は8百万円（前年同期比41.7%減）となりました。これは主として、貸付けによる支出4百万円、有形固定資産の取得による支出4百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は17百万円（前年同期は81百万円の収入）となりました。これは主として、長期借入れによる収入35百万円により資金が増加した一方で長期借入金の返済による支出44百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測に関する情報

平成31年3月期における通期連結業績予想につきましては、平成30年5月15日に公表いたしました「平成30年3月期 決算短信」から変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	297,368	323,083
受取手形及び売掛金	233,047	212,466
商品及び製品	5,300	2,800
仕掛品	35,854	34,120
原材料及び貯蔵品	596	579
前払費用	23,901	19,287
その他	4,937	7,246
貸倒引当金	△140	△140
流動資産合計	600,864	599,444
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,479	9,259
工具、器具及び備品(純額)	4,055	4,514
リース資産(純額)	5,573	7,561
その他(純額)	0	0
有形固定資産合計	17,108	21,336
無形固定資産		
リース資産	18,451	15,952
ソフトウェア	73,807	64,446
その他	3,649	3,471
無形固定資産計	95,909	83,869
投資その他の資産		
投資有価証券	170	170
長期貸付金	14,749	15,873
長期前払費用	7,378	6,229
保険積立金	56,674	53,366
保証金	21,095	22,582
繰延税金資産	14,229	17,050
その他	1,630	1,630
投資その他の資産合計	115,927	116,901
固定資産合計	228,945	222,107
資産合計	829,810	821,552

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,689	10,410
1年内返済予定の長期借入金	92,592	101,762
リース債務	7,444	7,384
未払金	14,712	15,680
未払費用	82,909	86,468
未払法人税等	1,626	1,759
未払消費税等	33,175	29,392
賞与引当金	9,648	10,473
その他	13,955	9,203
流動負債合計	269,756	272,535
固定負債		
長期借入金	497,333	479,022
リース債務	19,118	18,577
長期未払金	7,970	7,881
退職給付に係る負債	29,621	32,102
固定負債合計	554,042	537,583
負債合計	823,799	810,118
純資産の部		
株主資本		
資本金	81,865	81,865
資本剰余金	2,180	2,180
利益剰余金	△78,034	△72,612
株主資本合計	6,011	11,433
純資産合計	6,011	11,433
負債純資産合計	829,810	821,552

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

①中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成30年 4 月 1 日 至 平成30年 9 月30日)
売上高	847,434	922,343
売上原価	632,934	707,870
売上総利益	214,499	214,473
販売費及び一般管理費	195,208	201,278
営業利益	19,290	13,195
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	2	2
助成金収入	2,151	418
その他	2,033	740
営業外収益合計	4,195	1,170
営業外費用		
支払利息	5,451	6,459
上場準備費用	14,337	—
その他	1,696	1,891
営業外費用合計	21,485	8,351
経常利益	2,000	6,013
特別利益		
受取立退料	—	5,266
資産除去債務履行差額	—	523
特別利益合計	—	5,789
特別損失		
保険解約損	—	1,797
固定資産除却損	—	764
特別損失合計	—	2,561
税金等調整前中間純利益	2,000	9,241
法人税、住民税及び事業税	1,020	1,794
法人税等調整額	—	△2,820
法人税等合計	1,020	△1,026
中間純利益	980	10,267
親会社株主に帰属する中間純利益	980	10,267

②中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
中間純利益	980	10,267
中間包括利益	980	10,267
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	980	10,267

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	81,865	2,180	△74,255	9,790	9,790
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する 中間純利益			980	980	980
剰余金の配当			△4,845	△4,845	△4,845
当中間期変動額合計	—	—	△3,865	△3,865	△3,865
当中間期末残高	81,865	2,180	△78,121	5,925	5,925

当中間連結会計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	81,865	2,180	△78,034	6,011	6,011
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する 中間純利益			10,267	10,267	10,267
剰余金の配当			△4,845	△4,845	△4,845
当中間期変動額合計	—	—	5,422	5,422	5,422
当中間期末残高	81,865	2,180	△72,612	11,433	11,433

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成30年 4 月 1 日 至 平成30年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,000	9,241
減価償却費	17,170	16,296
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,231	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22	825
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,539	2,480
受取利息及び受取配当金	△10	△11
支払利息	5,451	6,459
固定資産除去損	—	764
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,721	20,580
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,247	4,250
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,931	△3,278
未払金の増減額 (△は減少)	△522	1,817
未払費用の増減額 (△は減少)	23,775	3,558
未払消費税等の増減額 (△は減少)	4,159	△3,783
その他	△3,286	716
小計	43,630	59,918
利息及び配当金の受取額	10	11
利息の支払額	△5,451	△6,459
法人税等の支払額	△781	△1,661
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,408	51,807
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,993	△4,198
無形固定資産の取得による支出	△10,013	△2,103
貸付けによる支出	△1,882	△4,900
貸付金の回収による収入	692	1,245
その他	△473	1,397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,670	△8,557
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△2,000	—
長期借入れによる収入	485,000	35,000
長期借入金の返済による支出	△394,189	△44,141
リース債務の返済による支出	△2,824	△3,548
配当金の支払額	△4,845	△4,845
財務活動によるキャッシュ・フロー	81,141	△17,535
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	103,879	25,715
現金及び現金同等物の期首残高	214,938	297,369
現金及び現金同等物の中間期末残高	318,817	323,084

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を当中間連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。